

ふりがな 氏名	なかがみかつゆき 中神 克之	職名	教授
取得学位	博士(看護学)	学会での受賞歴	特になし
主な担当科目	成人看護学概論、看護学研究ゼミナール(卒論)、看護学研究方法論、看護の統合と実践実習、成人急性期看護援助論Ⅰ、成人看護実習Ⅱ(急性期)、地域ふれあい実習		
所属学会	日本看護科学学会、日本看護医療学会(査読委員:平成29年9月～)、European Association for Communication in Healthcare、日本ヘルスコミュニケーション学会、日本クリティカルケア看護学会(社員/選任査読委員:令和5年4月～)、三重看護研究会、なごや看護学会(査読委員:平成30年11月～、編集委員:令和5年4月～)		

◆ 教育業績

事項	実施年月(日)	概要
講義内容の理解を深めるため、学習目標の明示、視覚教材の使用、ケース・メソッドの導入、練習問題の実施、ミニッツ・ペーパーを実施	平成30年4月から現在	講義前に学習目標を明示し、学習目的を高めた。講義資料は、パワーポイントに写真・図・表・映像等を多用したし、具現化・イメージ化を図り理解の促進を図った。具体的な看護を理解するために、ケース・メソッドによる事例を作成した。講義中に国家試験過去問を挿入し、知識の定着と理解を促進させた。講義後には毎回講義に関する意見・感想・質問を、ミニッツ・ペーパーを記入してもらい授業改善を行った。(名古屋市立大学)
講義への能動的な参加を推進するため、学習した知識の臨床や実習での関連性の明示、Think, Pair & Share 法の導入、事前・事後課題を実施	平成30年4月から現在	学習知識の臨床や実習での関連性について示し、学習動機を高めた。Think, Pair & Share 法を用いて、学生間の意見交換を促進させた。事前・事後課題を課し、学習効果の上がるよう展開した。(名古屋市立大学)
欠席者の講義内容の理解を深めるため、講義内容のWeb上での公開	平成30年4月から令和5年3月	欠席者の講義内容の理解を深めるため、講義内容をZOOMで録画し、それをWeb上で配信し視聴できるようにした。(名古屋市立大学)
演習内容の理解や思考力を深めるため、学習目的の明示、事前・事後課題の実施、Think, Pair & Share 法の導入、プレゼンテーションの実施、ケース・メソッドの導入、討議法の導入、質問法を実施	平成30年4月から現在	演習前に学習目標を明示し、学習目的を高めた。事前・事後課題を課し学習効果の上がるよう展開した。看護過程演習では、ケース・メソッドのための事例を作成し、Think, Pair & Share 法と討議法を用いて学生の意見交換を促進させ、成果をプレゼンテーションさせた。避難所運営演習では、避難所運営ゲーム(HUG)を用いて演習し、討議法を用いて学生間の意見交換を促進させた。質問法にて学生の思考・判断力の育成を行った。(名古屋市立大学)
演習への能動的な参加と技術の習得を促進させるため、ピア評価法の実施、生体シミュレーターの使用を実施、模範手技動画の作成を実施	平成30年4月から現在	吸引・呼吸訓練法やBLS演習では、学生同士によるピア評価を実施し、技術力の向上に努めた。また、生体シミュレーターを用いて安全で質の高い技術教育を実施した。BLS演習では、生体シミュレーターを用いて心臓マッサージの手技の速さや深さ等を測定するアプリを導入し、手技の正確性を可視化した。術後患者のフィジカルアセ

事 項	実 施 年月(日)	概 要
質の高いケアを提供するためのチームワークやコミュニケーション能力を養成するため、多職種連携教育を実施	平成30年4月 から令和5年3月	スメント演習と、術後看護の技術演習では、教員による模範手技動画を作成し手技獲得を促した。(名古屋市立大学) 医学部・薬学部・看護学部の学生10名程度に対して、地域の問題解決のためのグループ討議を促し、解決策の作成とフィールドワーク・健康支援活動の評価の指導を行った。(名古屋市立大学)
学生の実習での学びを深めるため、カンファレンスの実施、対話学習の実施、臨床看護師との指導の連携、形成的評価を実施	平成30年4月 から現在	実習中に学生主体のカンファレンスを行い、学びの共有や対話的学習による気づきの促しを行った。実習施設に出向き、実習環境の整備・指導の連携・形成的評価を行い、学習効果を高めるようにした。(名古屋市立大学)
急性・重症患者看護専門看護師の育成のため、カンファレンスの実施、対話学習の実施、臨床看護師との指導の連携、形成的評価、実習時間外の学習内容の提示を実施	平成30年4月 から令和5年3月	大学院の急性・重症患者看護専門看護師実習指導では、学生が緊急度や重症度が高く集中ケアを必要とする患者の看護実践方法や、患者とその家族の支援方法、倫理的問題の解決や医療スタッフ間の調整などについて、最善の看護や医療サービスが提供されるよう、カンファレンスの実施や臨床看護師との指導の連携を行った。(名古屋市立大学)

◆ 研究業績

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
著 書	ナーシング・グラフィカ EX 疾患と 看護③ 消化器 <ISBN 978-4-8404-6899-2>	共	令和2年1 月	株式会社メディカ出版、 第1版	編集：三原弘、土肥直樹、稲森 正彦、明石恵子、佐藤正美 著者：北啓一郎、中神克之、小 黒邦彦、中村美鈴、永野みどり、 他32名 全398ページ中、第2章1節食 欲不振(p.25～p.28)、第2章2 節過食・拒食(p.29～p.31)、第2 章3節摂食・嚥下機能障害(p.31 ～p.36)、第2章4節悪心・嘔吐 (p.36～p.40)、第2章5節胸や け(p.40～p.41)、第2章6節吐 血・下血(p.42～p.46)、第2章7 節腹痛(p.46～p.50)、第2章8 節腹部膨満(p.50～p.53)、第2 章9節、黄疸(p.53～p.57)、第2 章10節下痢(p.57～p.60)、第2 章11節便秘(p.60～p.63)、第2 章12節排便困難(p.64～p.66)、 第2章13節便失禁(p.66～ p.68)、第13章幽門側胃切除を 受ける胃癌患者の看護(p.364～

区分	著書・論文・発表テーマ・作品・演目などの名称	単・共	発行・発表年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏会の名称(会場名)	備考
著書	病期・病態・重症度からみた疾患別看護過程＋病態関連図 <ISBN 978-4-260-04245-1>	共	令和2年11月	株式会社医学書院、第4版	p.369)を執筆。 編集:井上智子、窪田哲郎 著者:工藤篤、舩越顕博、明石恵子、 <u>中神克之</u> 、他188名 全1992ページ中、第3章28節胆嚢炎・胆石症(p.531～p.541)、第3章29節膵炎(p.552～p.566)を執筆。
	新体系看護学全書 経過別成人看護学② 周術期看護 <ISBN 978-4839233266>	共	令和3年12月	株式会社メディカルフレンド社、第2版	編集:明石恵子、寫田理佳 著者:竹内佐智恵、舘昌美、 <u>中神克之</u> 、佐藤正美、他44名 全489ページ中、第5章2節胃がん(p.337～p.348)を執筆。
	エビデンスに基づく消化器看護ケア関連図 <ISBN 978-4-8058-8443-0>	共	令和4年2月	中央法規出版株式会社、第1版	監修:吉治仁志、西田直子 分担執筆:吉川尚美、 <u>中神克之</u> 、松浦純平、他34名 全345ページ中、第2章25節膵炎(p.320～p.329)、第2章26節膵癌(p.330～p.338)を執筆。
	ナーシング・グラフィカ 人体の構造と機能① 解剖生理学 <ISBN 978-4-8404-7831-1>	共	令和5年1月	株式会社メディカ出版、第5版	編集:武田裕子、林正健二 著者:林正健二、 <u>中神克之</u> 、宜保憲明、他19名 全430ページ中、第7章消化器系(p.292～339)を執筆。
	ナーシング・グラフィカ 疾病の成り立ちと回復の促進① 病態生理学 <ISBN 978-4-8404-7833-5>	共	令和5年1月	株式会社メディカ出版、第7版	編集:山内豊明 著者:山内豊明、 <u>中神克之</u> 、鎌倉やよい、他57名 全414ページ中、第3章12節悪心、嘔吐(p.315～317)を執筆。
論文	危険予知トレーニング(KYT)演習の学び 看護リスクマネジメントの授業からの試み	共	平成30年8月	四日市看護医療大学紀要、第11巻、第1号	加藤睦美、 <u>中神克之</u> 、小寺直美、増田由美、宮崎徳子 p.35～p.44
	産業看護職のコンピテンシー尺度の開発と信頼性・妥当性の検証	共	令和元年10月	日本産業看護学会誌、第6巻、第1号	河野啓子、工藤安史、後藤由紀、 <u>中神克之</u> 、畑中純子。 p.1～p.7
	統合失調症患者・家族の安定した在宅療養の要因の明確化－ナラティブ・アプローチ面接のSCAT(Steps for Coding and	共	令和4年3月	三重看護研究学会誌、第5巻、第1号	宮崎徳子、杉崎一美、萩典子、 <u>中神克之</u> 、加藤睦美 p.11～p.20

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
論 文	Theorization)による分析からー				
学会発表	救命救急センターに配属された新 卒看護師の就職後1年間の倫理的 行動	共	令和3年12 月	第41回日本看護科学学 会学術集会	明石恵子、江口秀子、森木ゆう 子、 <u>中神克之</u> 、澤田美和 P8-04
そ の 他 (報告書)	看護学生による看護補助ボランテ ィア員の養成と登録システム構築 のためのプロジェクト開発—大規 模地震災害時の看護職の労働負 担軽減に向けた調査研究	共	平成30年6 月	科学研究費助成事業研 究成果報告書	著者:小寺直美、 <u>中神克之</u> 、小 笠原ゆかり、蓑田さゆり、水野ル イス里見、児屋野仁美 p.1~p.5
	生活習慣病患者のヘルス・リテラシ ーが長期的なアウトカムの変化に 及ぼす構造の解明	単	平成30年8 月	科学研究費助成事業研 究成果報告書	p.1~p.5
	看護臨床アセスメントモデルの構 築ならびに実践能力育成に向けた 学際的実証研究	共	令和元年 5 月	科学研究費助成事業研 究成果報告書	著者:山内豊明、三笠里香、川 西美佐、吉田文子、今磯純子、 相馬孝博、 <u>中神克之</u> 、八木街 子、臼井美帆子 p.1~p.6
	さくらサイエンスプランによる国立 モンゴル医科大学看護学部とパー ツ大学公衆衛生学部(東ティモー ル)の学生の招へい「根拠に基 づいた健康的なコミュニティづくり」	共	令和元年 3 月	なごや看護学会誌、第 1 巻、第 1 号	山口知香枝、金子典代、脇本寛 子、 <u>中神克之</u> 、樋口倫代 p.46~p.51
	名古屋市立大学大学院看護学研 究科の国際交流プログラム パー ツ大学公衆衛生学部(東ティモー ル)との短期研修プログラム	共	令和2年 3 月	なごや看護学会誌、第 2 巻、第 2 号	<u>中神克之</u> 、金子典代、脇本寛 子、山口知香枝、樋口倫代 p.34~p.38
	名古屋市立大学大学院看護学研 究科の国際交流プログラム ハルリ ム大学看護研修の実施	共	令和2年 3 月	なごや看護学会誌、第 2 巻、第 2 号	金子典代、樋口倫代、天野薫、 脇本寛子、 <u>中神克之</u> 、山口知香 枝 p.39~p.45
	救急看護師の倫理的行動修得の プロセス	共	令和3年 6 月	科学研究費助成事業研 究成果報告書	著者:明石恵子、森木ゆう子、江 口秀子、 <u>中神克之</u> p.1~p.7
	女性のがん経験者の就労継続の 認識と支援の現状 : ナラティブ・ アプローチ面接の SCAT(Steps for Coding and Theorization)による分 析	共	令和3年 9 月	令和2年度フランスベッ ド・メディカルホームケア 研究・助成財団 研究助 成・事業助成・ボランテ ィア活動助成報告書	著者:宮崎徳子、杉崎一美、藤 井夕香、吉川尚美、森智子、 <u>中 神克之</u> 、加藤睦美、加藤真理、 東川薫 p.1~p.17

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年 月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
その 他 (報告書)	名古屋市立大学大学院看護学研 究科のオンライン国際交流プログ ラム	共	令和 4 年 3 月	なごや看護学会誌、第 4 巻、第 2 号	金子典代、城川絵理子、山口知 香枝、 <u>中神克之</u> 、脇本寛子、樋 口倫代 p.44～p.48